



仏法興隆花まつり千僧法要

— 慈悲の実践、世界平和の祈り —

4月26日^火 皆様もどうぞ、お参り下さい!

◆期日：平成28年4月26日(火)

◆集合場所：金鐘会館/東大寺ミュージアム (現地集合・現地解散)

◆参拝冥加料：お一人様3,000円 (献花料・大仏殿拝観料含みます)

◆募集：定員100名

◆申込締切：平成28年4月11日(月)

※定員になり次第締切ります。ご了承ください。

※諸事情により、内容の一部が変更になる場合があります。

◆参拝内容

12:00 金鐘会館集合

12:30 大仏殿入堂・焼香・献花・退堂 (中門にて待機)

12:45 行列参加行進・大仏殿再入堂・祈願法要参列

14:30 記念撮影・アショカピラー法要参列

15:30 解散

※下記写真は、平成26年実施より



奈良・東大寺のご本尊、 奈良の大仏さま 毘盧舎那仏さま法要へ参列を。



平成28年4月26日、奈良東大寺大仏殿にて仏法興隆および世界平和を願って、「花まつり千僧法要」が開催されます。

この法要は、昭和63年4月26日より、毎年続けられている法要で全国各地域・各宗派より多くの僧侶が参集し、宗派の垣根を越え、お互いを尊重しあい、慶讃の人々と集い、法要が営まれてきました。

このたびの千僧法要を運営する、私たち第20期全日本仏教青年会の活動テーマは、「慈悲の実践」です。

現在国内外には、未来に希望を持って前に進む人々がありますが、その一方、明るい未来を見出せない人々が多く存在します。しかし、仏の慈悲は前に進む人にも立ち止まる人にも、分け隔て無く平等に降り注いでいるはずで、それに気づける世界、気づかされる世界の実現が求められていると私たちは考えています。すなわち、仏教者として国内外の宗教者や同時代に生きる人々全てと共に、誰もが希望を見出せる世界を作り上げていくことが、「慈悲の実践」という活動テーマなのです。

周知の通り、平成27年は終戦70年という節目の年でした。しかし、戦争は本当に終結したのでしょうか。現在でも、戦火により被害を受けた方の悲しみは癒えることはありません。また、世界中いたるところで、対立による悲劇が繰り返され、国内でも沖縄の基地問題や、安保法案をめぐる世論や諸外国での争いを報道で目にしない日はありません。戦いも悲しみ憎しみも、継続され、再生産されているのです。

その困難な世界の状況を踏まえながら、私たちはこの千僧法要を仏法興隆の契機とし、さらに人類共通の目標である世界平和の祈りを行います。

この法要の一般参拝を実施するにあたり、ご参列いただきます皆様には、東大寺大仏殿にて、青年僧侶と共に法要を行っていただくことができます。

東大寺大仏殿で皆が声を合わせる法要の縁を結んでください。多くの皆様にご参加くださいますよう、ここにお願い申し上げます。

合掌
全日本仏教青年会 理事長
東海林良昌

お電話・メール・FAXでのお申し込み、お問い合わせ

全日本仏教青年会事務局

〒984-0071 仙台市若林区東九番丁141 常念寺内 石山誠治

TEL: 090-2795-7616 FAX: 022-222-8516

メールアドレス: yttkg-m50851@if-n.ne.jp

氏名: _____ 人数: _____ 人

住所: _____

電話番号: _____

寺院名: _____

※寺院名は、菩提寺等がある場合ご記入下さい。

東大寺花まつり 千僧法要とは



花まつり千僧法要 誓願文

仏教伝来以来1400余年、仏教は日本人の心の支えとして多くの文化・思想を育んできました。また仏教は多くの民衆の中に溶け込み、信仰として人々に生きる力を与えてきました。しかしながら今日、日本の社会構造は大きく変わり、仏教の社会における意義も変わりつつあります。物質的豊かさを誇る一方で、生への不安と混迷にさいなまれる人々が増えつつあるように思われます。

かつて聖武天皇は、単に人々の幸福と安寧ばかりでなく、動物も植物も共に栄えることを願われて、毘盧遮那仏の造像を発意され、東大寺に千僧、万僧を招待してその開眼供養会を催されました。

このたび、われわれ仏弟子たちは聖武天皇の故事を思い起こし、仏法の弘通に情熱を傾けた先徳たちを追慕し、宗派を超えて千僧相い集うことにしました。

われわれはこの機を縁とし、釈迦牟尼仏帰依の法要を通して苦悩する人々の心の救済と人類の福祉・世界の平和に寄与せんことを毘盧遮那仏のご宝前に誓願したいと思います。

昭和63年4月26日
全日本仏教青年会

花まつり千僧法要記念宝塔(アショカピラー宝塔) 碑文

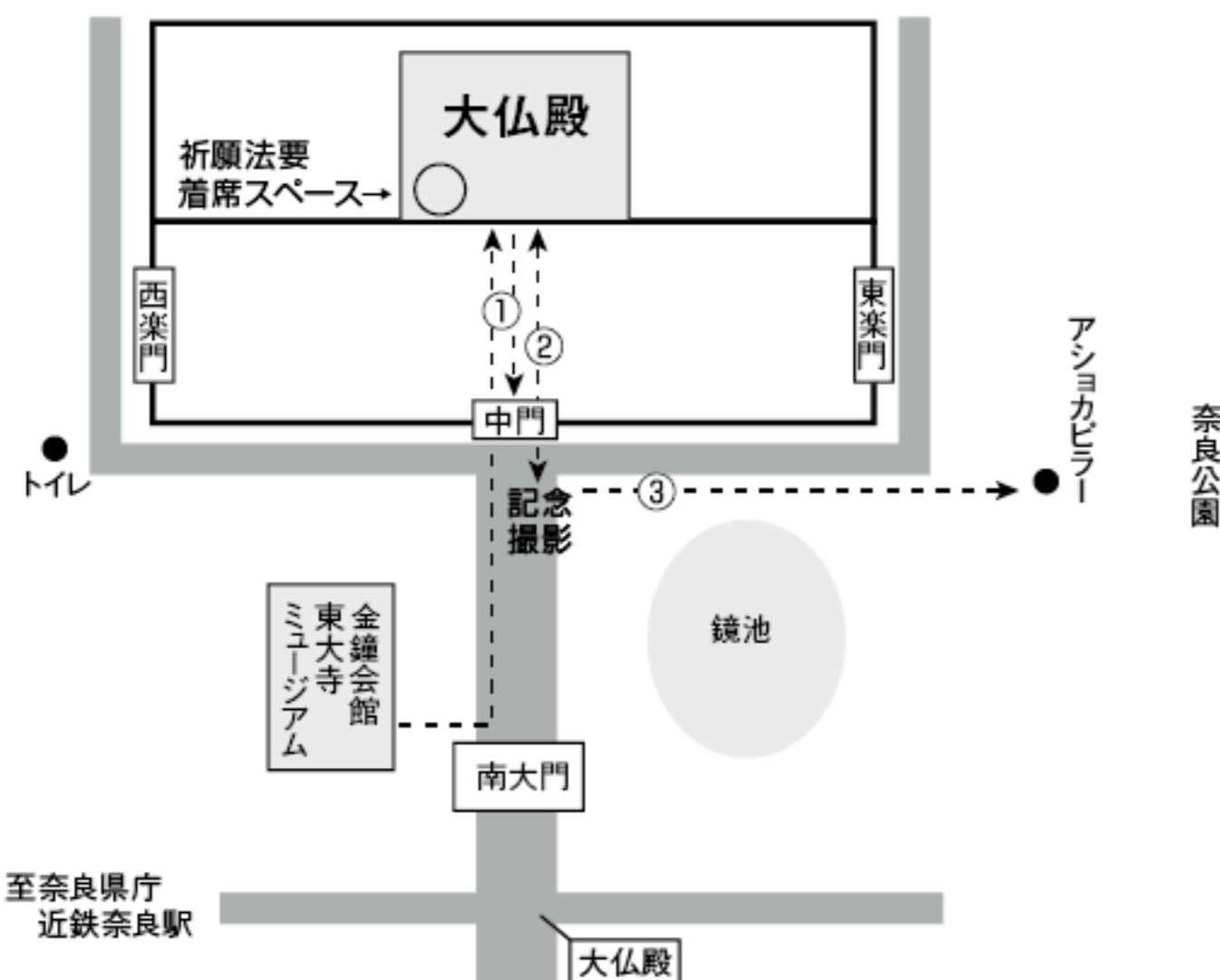
昭和63年(1988年)4月26日、全日本仏教青年会は、仏法興隆の願いをもって「花まつり千僧法要」(企画/全国曹洞宗青年会・南都二六会)をこの東大寺大仏殿で開催しました。法要には全国から宗派の違いを超えて1700余名の僧侶、万余の慶讃の人々が集い、苦悩する人々の心の救済と人類の福祉・世界の平和に寄与することを誓願しました。この宝塔は、その精神を永く継承し青年僧の思いを後世に伝えようとするものです。その昔インドのアショカ王は、各地には詔勅を刻んだ石柱を立て、仏教精神に裏付けられた理想社会の建設を目指されました。

それらの石柱はアショカピラーと呼ばれ、その柱頭部は美術的にも極めて価値の高いものと評価されています。この宝塔は、仏法を象徴する神聖な獅子をかたどったサルナートのアショカピラー柱頭部を忠実に復元したものです。

また宝塔の下には、法要の参加者名簿、全国から寄せられた未来へのメッセージを封印したタイムカプセルが埋設されています。このタイムカプセルは、日本に仏教が伝わって1500年の年、西暦2038年に開封されることになっています。

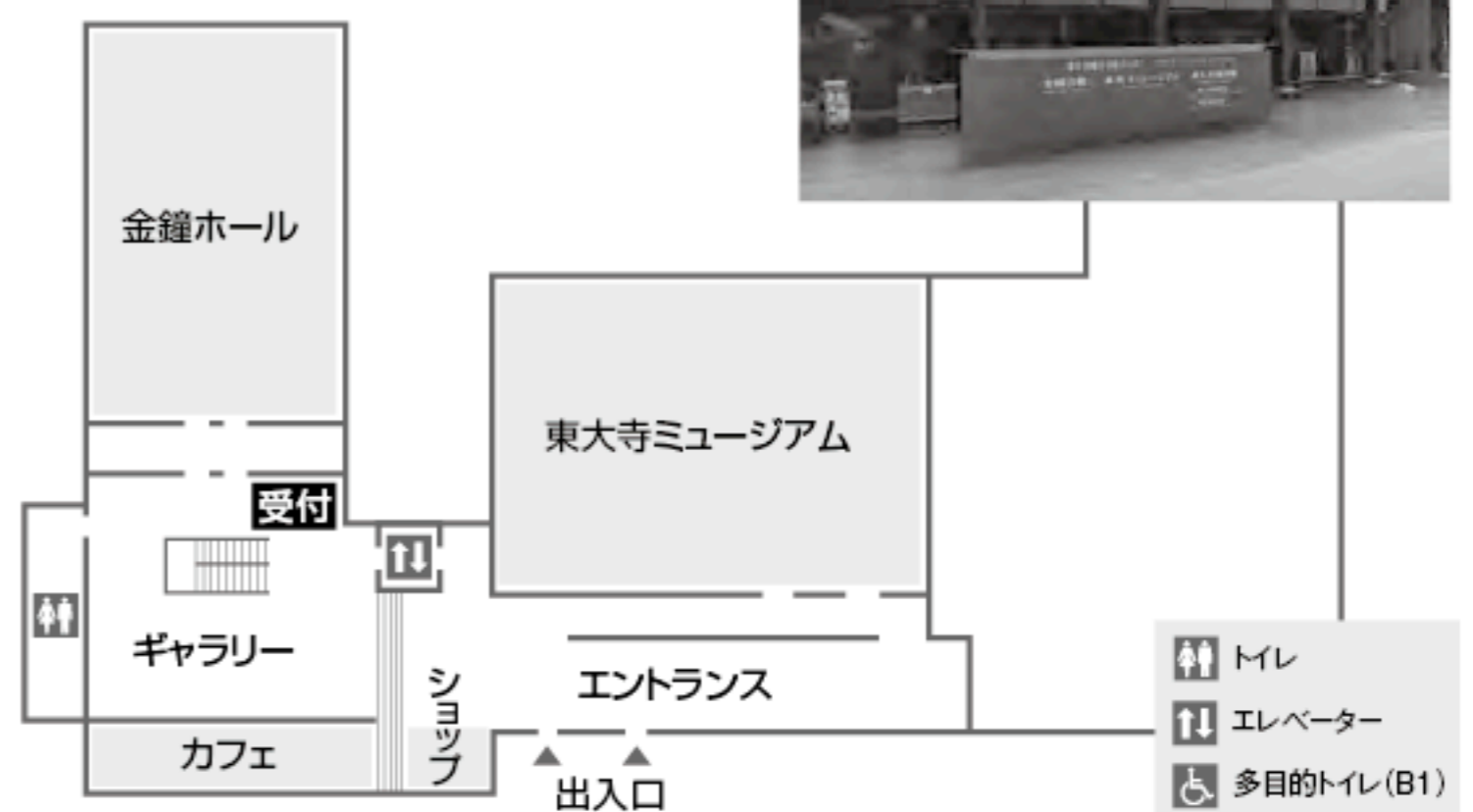
仏教弘通と理想社会の実現のために汗された多くの先達と同様に、この宝塔を訪れる人々が共に手を取りあって人類の福祉や世界平和実現への道に歩まれることを祈念いたします。

●法要参列順路



◆金鐘会館/東大寺ミュージアム

1F見取図



◆アクセス

JR大和路線・近鉄奈良線「奈良駅」から徒歩、または市内循環バス「大仏殿春日大社前」下車徒歩5分

◆施設内に駐車場はございません。下記をご利用ください。

奈良県営大仏前駐車場/奈良市水門町南院畑82

TEL.0742-22-5025

春日大社前駐車場/奈良市春日野町160

TEL.0742-22-7788